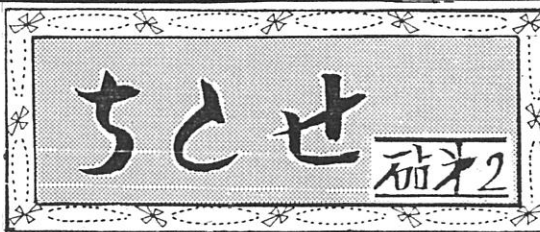


わがまち 船橋葎根会

関東大震災のころ

いつも静かな感じを人に与える氏は、
稲谷の人は親しみをこめ
てこう呼びます。
今も農業を続けながら、表記の役
職を軸に、多くの日時を公的活動
にささぎ、精力的に地域の要の一人
としてその責を果しておられます。
かつては、芦花中のPTA副会長
として地域の
教育力回復に力を注
がれ、現在は消防少
年団顧問として、子
ども達へのメッセー
ジを送り続けて



発行：編集委員会
編集：堀江 貞雄
責任者：
事務局：砧和出張所内
(482)0343
1985. 6 № 13



グラフィック!

ひびがガワツと

この協議会は
明い選挙の推進とその重要性を知らせ 区民の
積極的な政治参加を図ることを目的として
各種の事業を行なっている。

主たる事業は...

- 1 明い選挙推進のための調査、研究、企画
- 2 資料の収集、配布
- 3 都、区選挙管理委員会が行なう各種事業の協力
- 4 推進大会の開催など

4項目の事業を推進するために組織として協議会に
委員若干名が委嘱されている。 他に
目的達成のために出張所の管轄区域ごとに明い選挙推
進委員若干名が委嘱されている。任期は2年である。この推進
委員の役割は「話しあい活動」を中心に活動すること。
その他各種の啓発事業に協力することが主たる役割である。

具体的には...

- 1 「話しあい活動」の実施、年2回
- 2 街頭啓発に協力し有権者に対する投票の呼びかけ
- 3 指導研修会など
- 4 ポスター、掲示、チラシ、配布
- 5 その他、協力要請 対応

世田谷区明い選挙推進協議会 と推進委員の役割



して森の木にしがみつくと。高
橋材木店の材木がガラガラ倒
れるのが見える。大正12年9
月1日正午、歩こうとしても
立てない。小学生の吉崎義正
前町会長は、家事の手伝いで
森の葉の摘み採り最中だった。
どうして立ったか、歩いたの
か、とにかく1km近く離れて
いる家にたどり着いた。庭は
瓦でいっぱい。土蔵は土壁が
落ちて中がまる見え。家に入
ると空が見えた。姉が親戚か
ら預った赤ちゃんを抱いてふ



の日々。また稲谷会では、総務担当
副会長を、更に区の「明い町づく
り安全部会長」の重責を担っての日
常と承りました。

プロフェッショナル

倉本十三

砧二遺族会会長 成城消防団団長

五月の或る日、ご自宅を訪問して
お話を伺い、氏の静謐な面持ちの奥
に秘められた強さと粘りは、あの太
平洋戦争の体験からなのだと思い

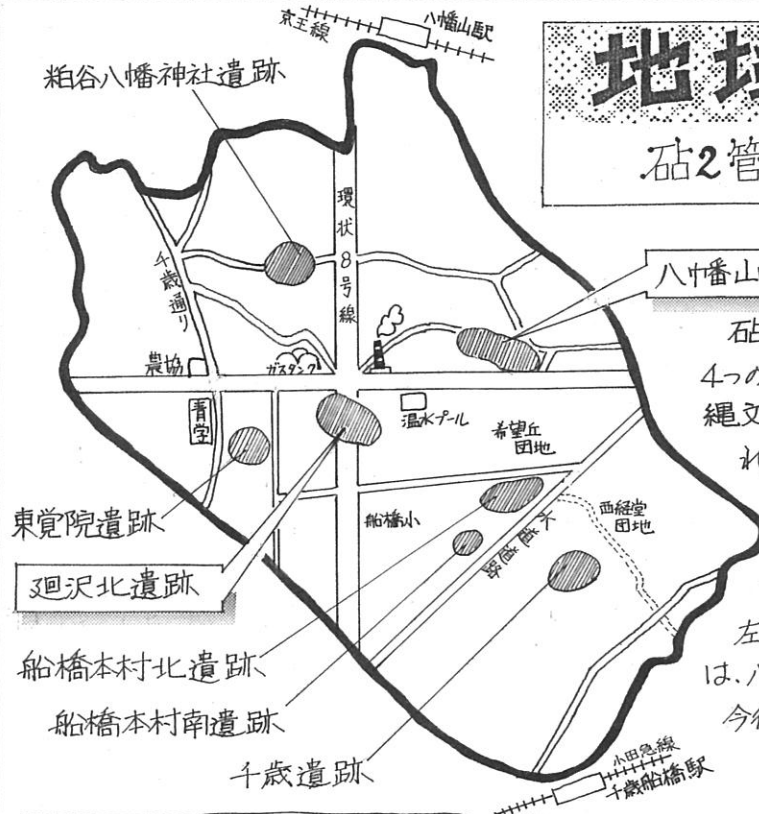
した。「横須賀に在った予科練での
同期生で東京都出身者二四名のうち、
生き残ったのは私一人です。戦後は
散っていった人々の代りに社会の為
に生きようと決心したのです。」と淡々と
語られました。話は
現在の生き方の根底
にあるものとして、
小学校や、予科練で
のすぐれた教育者と
のめぐり合いにも及びました。
また趣味としての短歌も、学生時
代の師の教えと、中世を生きた西行
の短歌に魅せられたからとか。
二人のお子様も独立されて、ご夫
婦だけのお住いには、梅花うつぎ
がその温厚篤実なお人柄を
象徴するかのようによれて
いました。(湯田 典子)

るえている。それでも家族全
員が集まって顔を見合せた時
はほっとした。
当時の葎根地区は、わずか
16軒の農村だった。ただ一軒
の瓦ぶきがこわれ、ほかのわ
らぶきはみな無事だった。大
きなげが人は一人も出なかつ
た。
夕刻になると東の空は真赤
に燃え広がった。篠崎竹次郎
(故人)は、東京(当時、山
の手のことを東京と呼ぶ)に



地域めぐり

砧2管内の歴史 遺跡



砧第2出張所管内は、旧千歳村の中の4つの村から成り立っており、往古をたどれば縄文中期(約5千年前)からだろうと言われてきましたが、廻沢北遺跡から先土器が発掘されたので、1万数千年の昔から人が住んでいたということになると、ちょっと想像を絶することです。左図の通りの遺跡の本調査が出来たのは、八幡山遺跡と廻沢遺跡だけですので、今後の調査が期待されます。(堀江 貞雄)

鳥山川は、現在希望丘公園東北隅、朝日新聞面研究所あたりで水無川と合流していた。鳥山川の本流は、カモの来る池で有名な北鳥山の高源院あたりが天然の水源地であったが、玉川上水完成後5年たった万治2年(1689)に上水から分水をうけ、鳥山用水として粕谷、八幡山、船橋を貫流した。一方、水無川の方は、北鳥山北西部あたりを源としているものの、普段は殆ど水の流れない小川であった。しかし、品川用水がひかれてからは、この用水からの漏れ水が、この川を少しばかりうるおして



失われた水をもとめて

鳥山川はいま

いた。旧廻沢村の古記録によると(元禄10年・1693)水田面積/町3反/畝余、全耕地の3%であった。現在の清掃工場、希望丘団地、希望丘中・小のあたりが水田として、ともひらけたところであった。川辺にはヨシが茂り、初夏にはヨシギリ、カワウソ・ホタルが飛び交っていた。春先のレンゲもみこどであった。下水道幹線として大部分が埋められ、緑道になっているもの、流れと水を失ったまちは、やはり何か大切なものを失ったまちだ。粕谷、八幡山のいまの溝は、川として再生は考えられないものだろうか。(三井 勝雄)



出張所コーナー 砧2のニューフェイス

お世話になりました

砧地域町会連合会 長・船橋葎根会長として、永年にわたり地域のためにご尽力いただいた吉崎義正氏が退任されました。なお、新しい船橋葎根会長には、黒田寅之助氏が就任されました。

佐久間 秀子
粕江から自転車通ります

高橋 昌子
お料理上手な職場のおかあさんです。

吉岡 満 (24才)
慶応 Boy です。やっほ

野村 美枝子
編物ならわたしにまかせて!

高橋 實次長 (52才)

日赤募資集の報告

皆様の温かいご協力により、本年度の日赤募資集は、二、三五四、〇九九円(6月21日現在)となりました。この社資は、日本赤十字社の災害救助・アフリカ難民援助等その活動資金となるもので、皆様のご厚情に重ねて御礼申し上げます。(日赤 奉仕団砧2分団)

7月10日

蒸し暑い今日この頃、1日の疲れをいやし、ピヤガーデンで乾杯! ふと空をあおぐと天の川が輝いていた。はて都会では夢でしょうか... 七夕、選挙、梅雨空をふき飛ばすように さわやかに!! きれいに!! (編集委員会)